

報道関係各位

2015年11月27日

一般財団法人榎尾俊雄記念財団

テーマは「表現力」と「弾く楽しさ」  
榎尾俊雄発明記念館で電子楽器の特別展示  
12月7日より12月26日までの期間限定

榎尾俊雄記念財団は「榎尾俊雄発明記念館」で、カシオの電子楽器の歴史を紹介する特別展示を12月7日より12月26日までの期間限定で一般公開いたします。



カシオトーン 201  
カシオ最初の電子楽器



コスモシンセサイザー  
カシオ最初のシンセサイザー



SK-1  
サンプリング電子楽器



EG-5  
カセットプレイヤー  
内蔵ギター

「榎尾俊雄発明記念館」は、2012年5月に死去した元カシオ計算機会長の榎尾俊雄が残した発明品を展示・公開するため、数多くの発明を生み出した自宅の一部を公開して開設したものです。2013年6月より一般公開し、カシオ計算機の最初の製品である世界初の小型純電気式計算機「14-A」をはじめ、電卓、時計、電子楽器などの代表的な発明品を展示しています。

電子楽器を展示する「音の部屋」では、音楽好きでさまざまな楽器の演奏を試みたものの習得できなかった榎尾俊雄が、複数の楽器の音色を1台で出せる電子楽器を自分で作ろうと考えて開発した最初の電子楽器「カシオトーン 201」を初め、電子楽器の歴史的な製品を展示しています。

今回の特別展示では、カシオが楽器開発で追求してきた「音色の追求による表現力の高い楽器」と「独創的な商品企画による楽しい楽器」の2つのテーマで歴代の電子楽器を展示します。

音色の追求による表現力の高い電子楽器として、世界的シンセサイザー奏者である富田勲氏のアドバイスを受けて開発した「コスモシンセサイザー」やCZシリーズなどのシンセサイザーや電子ピアノなどを展示。また独創的な商品企画による楽しく弾ける電子楽器として、録音した音を使って演奏できるサンプリング機能が人気を博し100万台以上を販売した「SK-1」、鍵盤が光っ

て弾く鍵盤をガイドする「ML-1」、電子管楽器「DH-100」、ギター型電子楽器「DG-10」、カセットプレイヤー内蔵ギター「EG-5」、スクラッチ盤を回しながらラップが楽しめる「RAP-10」などの楽器を展示します。

今後も同館では展示を通じて計算、時間、音楽、情報に対する榎尾俊雄の発明と考えを伝え、役立てていただくことで社会の発展への貢献を目指します。

<榎尾俊雄発明記念館の概要>

所在地：東京都世田谷区成城 4-19-10

設立日：2013年5月15日

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土曜、日曜、祝日、年末年始、夏季休暇（開館日はWebサイトに掲載）

入館料：無料

完全予約制：入館にはWebサイトからの予約が必要

Webサイト：<http://kashiotoshio.org>

本件に関する報道関係のお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社 コーポレートコミュニケーション統轄部 広報宣伝部 TEL. 03-5334-4830(直通)